

第1回 子ども家庭福祉の認定資格の取得に係る研修等に関する検討会	資料4
令和4年7月28日	

本検討会の議論事項について(案)

(1) 子ども家庭福祉に係る研修の課程

- ・ 子ども家庭福祉分野のソーシャルワーカーに求められる専門性としてどのようなものが考えられるか。
- ・ 研修の具体的な受講方法(講義/演習/実習、パッケージ型/アラカルト型)としてどのようなものが考えられるか。また、オンラインによる講義の受講についてどのように考えるか。
- ・ 研修カリキュラムの科目名、科目ごとの到達目標、学習項目、科目ごとの時間数についてどのように設定するか。
- ・ 研修受講者がカリキュラムの一部を受講できなかった場合における代替手段(他の研修の受講やレポートの提出等)についてどのように考えるか。

等

(2) ソーシャルワークに関する研修の課程

- ・ 子ども家庭福祉分野のソーシャルワーカーに求められる専門性としてどのようなものが考えられるか。
- ・ 研修の具体的な受講方法(講義/演習/実習、パッケージ型/アラカルト型)としてどのようなものが考えられるか。また、オンラインによる講義の受講についてどのように考えるか。
- ・ 研修カリキュラムの科目名、科目ごとの到達目標、学習項目、科目ごとの時間数についてどのように設定するか。
- ・ 研修受講者がカリキュラムの一部を受講できなかった場合における代替手段(他の研修の受講やレポートの提出等)についてどのように考えるか。

等

(3) 試験の内容及び方法・試験の頻度

- ・ 子ども家庭福祉分野のソーシャルワーカーに求められる専門性等を評価するための試験として、資格取得者の技能を担保する必要性等を踏まえ、どのような内容や形式(論述式/マーク式)が考えられるか。
- ・ 試験の開催頻度や開催地等の具体的な運用方法についてどう考えるか。

等